

平成29年9月吉日

南紀白浜空港コンソーシアム企業 各位
関係企業代表者 各位

一般社団法人
PTKタイ国際交流経済機構
代表理事 田中 慶司
(押印省略)

南紀白浜空港コンソーシアム企業参加について

記

表題の件、和歌山県に於いて公募に向けた準備作業が遅れており10月初旬～11月に公募公開が行われると推察され、南紀白浜空港コンソーシアム概要組織について検討を致したく各企業様の参画に於ける出資率等の検討を図り、代表企業を選出のご検討を頂きたく存じます。

1. 目的

南紀白浜空港を核として日本経済発展を主としてグローバルな教育と次世代へ継承できるスマートシティづくりに寄与するもの。

2. 空港施設の概要

- (1) 既存空港を改良工事等はなくそのまま運用する。
- (2) 空港施設内の既存の店舗はそのまま運用する
- (3) 空港職員はそのまま継続して雇用する
- (4) 現JAL3便は必須条件※他の航空機は3便の合間で活用
- (5) 運用時間8時30分～20時まで
- (6) 尚、免税店は県が増設する
- (7) その他、

3. 空港運営施設に於ける付加価値のオプション概要

- (1) 国内線（女満別空港・福島空港・大分空港）関西3空港との差別化を図る
- (2) 国際線（シンガポール・バンコク・サイパン）及び欧米諸国から誘客計画
- (3) ホテル誘致（MICE）など対応する、他
- (4) 旧滑走路跡地利用の複合施設（クルーズ船をモチーフとした施設）
- (5) 専門職大学の開校（多岐にわたる人材育成拠点）
- (6) 各企業様のオフィス施設拡充及びサテライトオフィス併設
(仮称：南紀白浜ナレッジキャピタル)
- (7) 潜在的な観光地を結ぶオプションルツアーの充実（景勝地、他）
- (8) インフラ（モノレール・観光バス・タクシー・観光ヘリ及びPBジェット）
- (9) その他、地政学リスク等を考慮案も含みます。

4. その他

当該案件は南紀白浜空港の運営で各企業様の才覚が必要です。協議に於いて各企業様の立ち位置を検討して頂き、南紀白浜空港を再生するのが目的かつ、紀伊半島のハブを図り、東京一極集中を回避した経済都市を目指すもの。 以上